

ダイバーシティ（多様な学生の理解と支援）



(大学公式Web) (政府広報オンライン)

大学は多様な人が共生しています

中央大学は、障害、病歴、経済状況、家庭環境、性別、性自認、性的指向、年齢、国籍、人種、民族、言語、信念、宗教など多様な背景をもつあらゆる人びとの人権を尊重することを約束しています。どの人がどんな背景をもっているかは見かけだけで判断することはできませんし、思い込みが無意識の偏見につながることもあります。理解や支援のためには、知識をつけること、対話をすること、行動することが重要です。すでに多様な人がともに生活しているこのキャンパスを、より一層安心・安全な場にしていきましょう。

身体障害について

視覚障害：学内に敷設してある点字ブロックの上で立ち話や作業をしないように、また、物を置かないように配慮しましょう。

聴覚障害：話しかけるときは、自分が話すことがわかるように意思表示をし、口を大きく開けて話しましょう。複数人で話すときは、一斉に話すことは避けてください。筆談やアプリを用いた会話を提案することもできます。

肢体不自由：車椅子や福祉器具等を使用している方が移動しやすいよう道や席を空けるようにしましょう。特に優先エレベーター表示のあるエレベーターでは順番を譲るなどの配慮をしてください。段差や傾斜がある場合には、声をかけて手伝う必要があるか確認してください。

身体障害・慢性身体疾患に関わる支援はダイバーシティセンターにご相談ください。

発達障害について

発達障害は、注意力やスケジュール管理、読み書き、コミュニケーション等の能力に偏りがあるため生活上の困難を生じる病態で、自閉スペクトラム症（ASD）や注意欠如・多動症（ADHD）などが含まれます。多くの人には簡単にできることが、自分には難しいといった場合は、発達障害の可能性がります。こういった特徴はその人らしい創造性などプラスの面に関連していることもあります。発達障害にかかわる支援は学生相談室・所属学部事務室にご相談ください。

スチューデント・アシスタント（学生支援スタッフ）を募集しています

中央大学では、障害の有無に関わらず学べるように合理的配慮を提供しています。その中には学生の皆さんが支援スタッフ（アルバイト）として活動するものもあります。実際に活動する前には講習会もありますので、経験がなくても大丈夫です。関心のある方はダイバーシティセンターまでご連絡ください。

ジェンダー・セクシュアリティについて

性的指向（恋愛や性愛の対象となる性）や性自認（自分の性別をどのように認識するか）は人それぞれです。当然、性的指向が異性ではない人や、性自認が出生時の身体の性をもとに割り当てられた性と異なる人などもあります。もし誰かからそのことをカミングアウト（本人の意思で打ち明けること）された場合には、話してくれたことを受け止め、対話をしてみましょう。アウトティング（本人の同意なく言いふらすこと）は絶対にしないでください。性別に違和感がある学生への支援として、通称名の使用や健康診断の個別受診などを利用できる場合があります。学生生活における支援や悩みごとについてはダイバーシティセンターにご相談ください。

多文化共生について

留学生はもちろん、日本で生まれ育った人の中にも、様々なルーツをもつ人がいます。見た目「外国人」「日本人」と決め付けたり、その場に「日本人」しかない前提で話したりすることはやめましょう。住民票に記載されている通称名がある場合や、名前が望まない形でバックグラウンドを吐露する場合、名前のせいで差別などの対象になり得る場合など、通称名を使用することもできます。学生生活における支援や悩みごとについてはダイバーシティセンターや国際センターに相談してください。